

令和5年度（2023年度）学校自己評価表

天草市立本渡看護専門学校
令和6年3月

1 学校の教育目標

1. 心豊かで円満な人間性を養うことができる。
2. 生命の尊厳と個々の人格を尊重する態度を養うことができる。
3. 対象である人間を総合的にとらえ、看護上の問題が解決できる能力を養うことができる。
4. 保健医療チームの一員として、看護職の果たす役割と責任を自覚する。
5. 専門職として常に問題意識を持ちつつ、生涯を通して学習に努め、看護を探究する姿勢を養うことができる。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 令和5年度目標 コミュニティ・ナースィングスクール（地域と共にある学校づくり）
 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止を引き続き図り、学生が単位修得できる環境を整える。
 ○東京藝術大学との連携を図り、学生が心豊かで円満な人間性を養うことができる。
 ◎目標
 I 卒業生の市内医療機関等への就職率向上（令和5年度目標50%以上）
 ・市の総合計画における令和5年度の目標値50%
 II 国家試験合格率（100%）

3 評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	自己評価
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3.7
・学校における職業教育の特色は何か	3.7
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.7
・学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.5
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.7

取組みの概要及び今後の課題

・教育理念「生命の尊厳と人間尊重を基盤とし、科学的な思考力、創造性、探究心と主体的な行動力を養い、社会の変化に対応できる豊かな人間性を備えた人格の形成を目指す」ことを全職員が意識した。結果は、①卒業生の市内就職率50.0%、②国家試験合格率97.5%であった。生徒・学生・保護者等に戴帽式やオープンキャンパス・学校ホームページ等の機会を通じて、学校の理念や目的、特色を伝えることができる。また、戴帽式等に保護者への説明を行いさらに個別相談を設けた。

（2）学校運営

評価項目	自己評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.8
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.8
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.6
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.8
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.8
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.7
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.5
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.3

取組みの概要及び今後の課題

・市の運営方針に基づき、学校設立の理念を意識し、学校運営が図られている。令和6年度より学校管理システム運用にて準備が進んでいる。業務の効率化を図れることが期待される。運営会議、指導者会議、職員・教務会議を開催し、学校運営を図っている。また、継続的な課題として看護教員の確保が求められる。

(3) 教育活動

評 価 項 目	自己評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	3.8
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	3.7
・関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	3.5
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、学習等）が体系的に位置づけられているか	3.3
・授業評価の実施、評価体制はあるか	3.8
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.3
・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	3.8
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.7
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.3
・関連分野における先端的な知識、技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.5
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.4

取組みの概要及び今後の課題
・職業教育に対する外部関係者からの評価は、運営会議等での意見を教育内容の方法に取り入れる取組をしている。全教科の授業評価を実施し、授業の質の向上を図っている。さらに、専任教員の質の向上のため、看護学会・研修会に参加している。

(4) 学修成果

評 価 項 目	自己評価
・就職率の向上が図られているか	3.8
・資格取得率の向上が図られているか	3.6
・退学率の低減が図られているか	3.7
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

取組みの概要及び今後の課題
・3年次4月に就職・進学について個人面談を実施し学生の意思を確認した。就職情報や就職試験に関することは情報共有をしながら学生の支援を実施した。就職率は100%（1名は進学）の結果となる。国家試験合格を目標に1年次から対策を実施。3年次には外部講師や学内教員による補講、定期的な全国模試を実施した。学生の学習状況と成績の推移を教職員全体で共有を行い、学習支援を継続して行った。令和5年度は退学者がいなかった。

(5) 学生支援

評 価 項 目	自己評価
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	3.7
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.7
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.8
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.8

・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.1
・学生の生活環境への支援は行われているか	3.5
・保護者と適切に連携しているか	3.4
・卒業生への支援体制はあるか	3.5
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.4
・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか	3.5

取組みの概要及び今後の課題	
・学生同士の交流の場を設けて、低学年の学習意欲の向上に繋がった。担任制や国家試験担当制を実施することにより個別支援の充実が図れた。また、新型コロナウイルス感染症の予防接種を学校で取りまとめて、学生・保護者の同意のもと、6月16日、10月25日に実施した。年1回の健康診断は全学生が受け、精密検査が必要と認められた者には受診勧奨を行い、必要時面談等を行いながら、学生の健康管理を行っている。	

(6) 教育環境

評 価 項 目	自己評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.3
・防災に対する体制は整備されているか	3.6

取組みの概要及び今後の課題	
・校内の美化や物品整理を随時実施した。特に実習室は在庫管理・物品点検を行い演習環境を整えた。	

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	自己評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.7
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.5
・学納金は妥当なものとなっているか	3.9

取組みの概要及び今後の課題	
・本校の学納金については熊本県内で最も安く、学生及び家族の経済的負担を考えた場合、学びやすい学校であると考えている。	

(8) 財務

評 価 項 目	自己評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.6
・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6
・財務について会計監査が適正に行われているか	3.9
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.9

取組みの概要及び今後の課題	
・市の財政基盤は安定しているもの、日頃から限られた予算の有効活用を心掛け、業務を遂行している。	

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	自己評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8
・個人情報に関し、その保護のための対策がとれているか	3.8
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5
・自己評価結果を公開しているか	3.6

取組みの概要及び今後の課題	
・コンプライアンスについては、学生を指導する立場上、日頃から全職員が十分意識し行動をとっている。さらに、学校ホームページで情報の公開を実施している。	

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	自己評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	3.6
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.7
・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.6

取組みの概要及び今後の課題	
・天草ハイヤ道中踊りへ参加したり、ボランティアへの呼びかけをして前年度より参加できた。また、専門教育実践講座を周知し、学生支援に努めている。	

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・令和5年度の5月に新型コロナウイルス感染症が5類になり、学校保健安全法に基づき、出席停止期間が短縮された。しかし、臨地実習が新型コロナウイルス感染症で余儀なく学内実習に変更することもあった。罹患者には学習の機会を確保した。予防接種も接種しやすいように集団で実施できるよう配慮し、学生・職員の希望者に対して年2回実施することができた。社会の状況を踏まえ感染防止対策に努める。
<目標Ⅰ> ○卒業生の市内就職率向上（令和5年度50%以上） ・令和5年度の天草市内の医療機関への就職者については、卒業生40人のうち20人が天草市内への就職となり、就職率にして50.0%で、4年続けて半数以上を確保できた。 ・このことは、「地域の保健医療に貢献できる看護師の育成」を目標とする本校の教育目標を達成できているものとする。 ・今後も、この目標を継続して達成できるような学校運営を行って行きたい。 <目標Ⅱ> ○国家試験合格率（100%） ・令和5年度の国家試験合格者 39/40名(97.5%)であった。 ・1年次から学習を積み上げて国家試験に取り組んだ。特に3年次は担任を中心に情報共有と全教員で個別支援の強化を図った。専門職としての看護職に求められているものは、臨床判断能力となる。看護師国家試験にも反映しており、ますます看護教育での教育力が今後は求められる。